



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社JPホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2749 URL <https://www.jp-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂井 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 堤 亮二 (TEL) 052-933-5419
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (メディア関係者・機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,955	2.8	632	27.5	955	28.4	551	6.8
2020年3月期第2四半期	15,517	8.7	496	194.9	744	86.4	516	118.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 627百万円(19.2%) 2020年3月期第2四半期 526百万円(206.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.30	—
2020年3月期第2四半期	5.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,382	9,922	36.2
2020年3月期	26,122	9,636	36.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,922百万円 2020年3月期 9,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,005	4.1	1,577	2.5	2,153	7.5	1,163	3.6	13.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	87,849,400株	2020年3月期	87,849,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	380,707株	2020年3月期	380,707株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	87,468,693株	2020年3月期2Q	87,805,393株

(注) 2020年3月期期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（従業員持株会処分型）」の信託財産として、資産管理サービスの信託銀行株式会社（信託E口）が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2020年11月16日（月）にメディア関係者・機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をWEBでのオンラインミーティング形式にて実施する予定です。また、個人投資家向けの決算説明会に関しては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い2020年4月7日に発令された政府による「緊急事態宣言」が5月下旬に解除されたことから、その後、国内経済活動が徐々に再開してきたものの、先行きは依然として不透明な状況であります。また、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施された主要都市のロックダウンが徐々に解除されたものの、人・モノの動きの回復が鈍く世界経済の先行きも不透明な状況であります。

一方、子育て支援事業においては、女性の社会進出に対する意識の変化や政府による女性の活躍推進などにより、共働き世帯数や女性の就業率は上昇傾向にあり、昨年10月に実施された幼児教育・保育の無償化により、保育に対する需要は引き続き高い状況にあります。しかしながら、「緊急事態宣言」が解除となる5月末まで外出自粛要請や営業活動の規制等の措置が取られたため、当社が子育て支援施設を運営する地域においても自治体からの要請により一部の施設（保育所・学童クラブ・児童館）が臨時休園・休室・休館となり、その後も厳しい状況下で安全を確保し運営を行っております。

このような厳しい環境の中、当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、自治体と連携しながら、お預かりするお子様・保護者の皆様・取引先・従業員の安全確保を最優先に考え、各施設においては、毎朝の検温・手洗い・うがい・アルコール消毒・マスク着用のもと、独自の対応基準を設け、徹底した安全対策を講じるとともに、本社・東京本部では時差出勤やテレワークを実施するなど、迅速に対応を行ってまいりました。

また、2020年6月25日開催の当社第28回定時株主総会を経て、新たに教育・財務・法務・ガバナンス関連に深い見識と知見を兼ね備えた有識者である社外取締役が過半数以上を占める経営体制として新たなスタートを切りました。当社グループは従来からコーポレート・ガバナンスを透明性・公平性が高く、かつ迅速・果敢な意思決定を行うための重要な取り組みであると考えており、更なる体制強化として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行いたしました。これにより、取締役会の監査・監督機能を一層強化し、迅速な意思決定を実現することで、更なるコーポレート・ガバナンスの強化と持続的な成長による企業価値の向上を図るものです。

新経営体制においては、「選択と集中」「組織活性化」を経営改革の方針に掲げ、具体的な取り組みとしては、既存施設への受け入れ児童数と人員配置を適正化することで、収益性の向上と運営効率の改善を図るとともに、システム導入や業務見直しによる運営・間接コストの軽減を行い、働きやすい職場環境の整備により離職率の抑制に繋げてまいりました。

新規施設の開設につきましては、2021年3月期第2四半期連結累計期間において保育所4園（東京都4園）、学童クラブ5施設（東京都5施設）の計9施設を開設しており、計画どおり推進しております。

(保育所)

アスク千住保育園	(2020年4月1日)
アスク舎人駅前保育園	(2020年4月1日)
アスク大泉学園保育園	(2020年4月1日)
アスクねりま三丁目保育園	(2020年4月1日)

(学童クラブ)

わくわく柳田ひろば／柳田みどりクラブ第二	(2020年4月1日)
わくわく四岩ひろば／四岩小いちょうクラブ第二	(2020年4月1日)
調布市立深大寺児童館学童クラブ	(2020年4月1日)
三鷹市南浦学童保育所A分室	(2020年4月1日)
三鷹市四小学童保育所B	(2020年4月1日)

※1：「わくわく柳田ひろば／柳田みどりクラブ第二」の開設に伴い「わくわく柳田ひろば」は「わくわく柳田ひろば／柳田みどりクラブ第一」として、「わくわく四岩ひろば／四岩小いちょうクラブ第二」の開設に伴い「わくわく四岩ひろば」は「わくわく四岩ひろば／四岩小いちょうクラブ第一」として、「三鷹市四小学童保育所B」の開設に伴い「三鷹市四小学童保育所」は「三鷹市四小学童保育所A」として、それぞれ2020年4月1日より運営しております。

※2：2020年4月1日より既存の東京都認証保育所として2008年4月1日より運営しておりました「アスク東大島保育園」を認可保育園に移行、2010年4月1日より公設民営として運営しておりました「大府市立共和東保育園」を民設民営に移行し「アスク共和東保育園」として運営しております。

※3：株式会社アメニティライフが運営しておりました民間学童クラブ3施設（「エルフィーキッズ鶴ヶ峰」「エルフィーキッズ二俣川」「エルフィーキッズ緑園都市」）は2020年3月末日をもって閉室いたしました。

その結果、2020年9月末日における保育所の数は213園、学童クラブは77施設、児童館は11施設、民間学童クラブは1施設、幼稚園（海外施設）は1園となり、子育て支援施設の合計は303施設となりました。

以上より、当社グループの連結売上高は15,955百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は632百万円（同27.5%増）、経常利益は955百万円（同28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は551百万円（同6.8%増）となりました。

これらの主な要因は、以下の通りです。

売上高においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、2020年4月7日の「緊急事態宣言」から解除となる5月末までの期間において一部施設が休園・休室・休館となったことにより、保護者から直接徴収する給食費及び写真販売に伴う物販収入等が減少したものの、新規施設の開設、東京都認証保育所の認可移行及び既存施設への受け入れ児童の増加により前年同期比で増収となりました。

営業利益においては、新型コロナウイルス感染の拡大防止に伴う収入の減少はありましたが、上記の売上高の増収要因に加え、自治体要請による一部施設の休園・休室・休館に伴い給食に係わる食材費及び各種費用削減に努めたことで、売上総利益の増加とともに、販売費及び一般管理費の抑制により前年同期比で増益となりました。

経常利益においても上記の営業利益の増加に加え、寮利用者の増加に伴う補助金等が増額したことなどにより、前年同期比で増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益に関しては、当地域の待機児童の状況など、環境の変化による収益悪化に伴い東京都認証保育所5園(当期末4園閉園、翌期末1園閉園)及び企業主導型保育所1園(当期末1園閉園)を閉園することから特別損失115百万円を計上しましたが、前年同期比で増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は27,382百万円（前期末比1,259百万円増）となりました。

流動資産は11,859百万円（同2,071百万円増）となりましたが、これは、主に現金及び預金が2,302百万円増加した一方で、その他が147百万円、たな卸資産が81百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は15,522百万円（同812百万円減）となっております。これは、主に投資有価証券が108百万円増加した一方で、建設仮勘定が490百万円、建物及び構築物が245百万円、投資その他の資産のその他が68百万円、長期貸付金が67百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は17,459百万円（同973百万円増）となりました。

流動負債は5,958百万円（同37百万円増）となりましたが、これは、主に1年内返済予定の長期借入金が247百万円、その他が131百万円、賞与引当金が64百万円増加した一方で、未払金が334百万円、未払法人税等が84百万円、未払消費税等が14百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は11,500百万円（同935百万円増）となっておりますが、これは、主に長期借入金が849百万円、退職給付に係る負債が53百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は9,922百万円（同286百万円増）となっておりますが、これは、主に利益剰余金が210百万円、その他有価証券評価差額金が64百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2020年5月13日発表の数値から変更はありませんが、今後の業況の変化等により、実際の業績が予想数値と異なる場合があります。

今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,206,487	8,508,548
受取手形及び売掛金	76,288	70,033
たな卸資産	111,259	29,293
未収入金	2,410,895	2,416,263
その他	1,009,077	861,348
貸倒引当金	△25,759	△25,835
流動資産合計	9,788,250	11,859,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,237,506	12,354,762
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,349,352	△5,712,127
建物及び構築物（純額）	6,888,153	6,642,634
機械装置及び運搬具	5,637	203
減価償却累計額	△4,146	△77
機械装置及び運搬具（純額）	1,490	126
工具、器具及び備品	923,279	956,578
減価償却累計額及び減損損失累計額	△671,412	△716,699
工具、器具及び備品（純額）	251,866	239,878
土地	980,894	980,894
建設仮勘定	497,896	7,596
有形固定資産合計	8,620,302	7,871,130
無形固定資産		
のれん	197,508	182,315
その他	50,169	46,824
無形固定資産合計	247,678	229,140
投資その他の資産		
投資有価証券	436,234	545,231
長期貸付金	3,284,007	3,216,021
差入保証金	1,906,120	1,894,675
繰延税金資産	1,128,962	1,122,885
その他	720,593	651,604
貸倒引当金	△9,445	△8,294
投資その他の資産合計	7,466,474	7,422,123
固定資産合計	16,334,455	15,522,395
資産合計	26,122,705	27,382,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,720	176,540
1年内返済予定の長期借入金	1,639,460	1,887,052
未払金	1,535,400	1,200,721
未払法人税等	415,324	331,075
未払消費税等	117,626	102,659
賞与引当金	554,836	618,854
資産除去債務	10,894	58,680
その他	1,451,683	1,583,112
流動負債合計	5,920,945	5,958,697
固定負債		
長期借入金	9,479,911	10,329,541
退職給付に係る負債	757,052	810,638
資産除去債務	320,567	348,911
その他	7,979	11,798
固定負債合計	10,565,510	11,500,889
負債合計	16,486,455	17,459,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,603,955	1,603,955
資本剰余金	1,449,544	1,449,544
利益剰余金	6,982,526	7,192,698
自己株式	△107,515	△107,515
株主資本合計	9,928,510	10,138,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224,438	△160,291
繰延ヘッジ損益	△5,537	△8,188
為替換算調整勘定	2,610	837
退職給付に係る調整累計額	△64,895	△48,579
その他の包括利益累計額合計	△292,261	△216,221
純資産合計	9,636,249	9,922,460
負債純資産合計	26,122,705	27,382,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	15,517,301	15,955,842
売上原価	13,668,091	13,824,713
売上総利益	1,849,209	2,131,129
販売費及び一般管理費	1,353,036	1,498,699
営業利益	496,173	632,430
営業外収益		
受取利息	50,492	42,774
補助金収入	224,254	306,427
受取保証料	5,467	—
その他	11,469	6,110
営業外収益合計	291,683	355,312
営業外費用		
支払利息	29,269	28,260
解体撤去費用	1,289	—
その他	12,938	3,997
営業外費用合計	43,497	32,257
経常利益	744,359	955,485
特別利益		
固定資産売却益	—	1,606
特別利益合計	—	1,606
特別損失		
固定資産除却損	1,215	0
園減損損失	3,894	115,907
特別損失合計	5,109	115,907
税金等調整前四半期純利益	739,250	841,184
法人税、住民税及び事業税	262,123	319,478
法人税等調整額	△38,879	△29,593
法人税等合計	223,243	289,884
四半期純利益	516,006	551,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,006	551,299

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	516,006	551,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,252	64,146
繰延ヘッジ損益	△2,645	△2,650
為替換算調整勘定	2,893	△1,772
退職給付に係る調整額	14,149	16,316
その他の包括利益合計	10,145	76,039
四半期包括利益	526,151	627,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,151	627,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。